

ボディパーカッション教育活動は、1986年福岡県の小学校の教室から生まれました。

1996年に知的障害、1997年に聴覚障害の子ども達が楽しめる教材に発展しました。

「ニューヨークで作品発表や社会貢献（ボランティア）をしませんか！」

【ボディパーカッション教育振興会の目標】

- (1) 「聴覚障害があっても音楽が楽しめる、ボディパーカッション教育の楽しさを伝える。」
- (2) 「5年後50ヶ国、10年後100ヶ国の“すべての子ども達”へ、ハンディキャップの有無に関わらず、“身体がすべて楽器として楽しめる”ボディパーカッション教育の楽しさを伝える。」

当振興会は、2017、2018年ウィーン国立歌劇場で障害がある無しに関わらず、“全ての子ども達”が参加できる音楽教育教材として作品発表し、オーストリア国立福祉施設でボランティア・ワークショップを行い高い評価を頂きました。

2019年12月に「ニューヨーク・カーネギーホール」で作品発表を行い、福祉施設、孤児院でボランティア・ワークショップを行う予定です。(26日カーネギーホール、27日福祉施設訪問)

ボディパーカッション教育活動の「目標」を実現するために、国内外で(1)「NHK交響楽団と健常、聴覚障害、知的障害、肢体不自由等の子ども達との共演」(2001,2004,2006年)、(2)「5万人のボディパーカッション」(2002年)(3)「カンボジア教育支援スタディツアー」(2014年～現在)(4)「ウィーン国立歌劇場で作品発表、福祉施設訪問」(2017、2018年)等の活動を行ってきました。

上記の活動実績を基に、国連のエントランスホールで演奏やワークショップを行い、「聴覚障害の子ども達へ、ボディパーカッション教育で音楽の楽しさ」「5年後50ヶ国、10年後100ヶ国の“全ての子ども達”へボディパーカッション教育の楽しさ」を伝えたいと考えています。

さらには、当振興会は次世代を担う若者の支援を目指しています。若者自身がボディパーカッション教育活動を通し、そのネットワークを活用し、自分の目標に向かって「夢」を創り上げ、新たなプロジェクトで社会貢献活動を構築してもらいたいと願っています。

当振興会が考える「すべての子ども達」とは、障害（聴覚障害、知的障害、視覚障害、肢体不自由、発達障害、ダウン症、他）がある子ども達と健常な子ども達の全てです。

2019年9月 文責 山田俊之（ボディパーカッション教育振興会代表）

当振興会の目標は、すべての子ども達と一緒に国連のエントランスホールで演奏とワークショップを行い、世界中の子ども達へボディパーカッション教育の楽しさを伝えることです。



# 文化



ほど、絵の具の層は分厚くなり、神への傾斜もまた深まっていった。それは真理により近づいたための苦行のように思える。  
二十世紀前期、油彩、カンバス、四五×三三センチ

「やりのた」と答え、「ダンスの練習をしている人の若者がいた。私と二十人ほどの子供たちは、彼らの軽やかな動きがやむと思わず拍手を送った。」

昨年暮れ、渋谷の街に、ラジカセを置いてブレイクダンスの練習をしている人の若者がいた。私と二十人ほどの子供たちは、彼らの軽やかな動きがやむと思わず拍手を送った。

その日は、東京公演のために上京し、会場の東京児童会館の下見に出かけていた。本拠地の福岡県久留米市以外で本格的な公演をするのは初めてだったが、確かに手ごたえを感じて帰郷し、余韻に包まれて正月を過ごした。

初めて東京で公演「お札に演奏しようか」と私は言った。子供たちは「やりのた」と答え、「ダンス・フールズ(踊る滝)」という曲を披露した。今度は若者たちが「すごい」と手を叩いた。ジャンルも年齢も超えて、こんな交歓ができたのも私と子供たちが夢中になっている「ボディパーカッション」のおかげだ。



十年前、佐賀市で開かれた国立音楽大学打楽器部アンサンブルの演奏会にでかけた。アンコールの後、七、八人が舞台上立ち、自分の体を打楽器のように使う演奏が披露された。一種の余興ではあるが、音全体を動かして音を紡いでいく

## 体は楽器 手叩け足鳴らせ

◇「ボディパーカッション」、子供らと熱演◇

山田 俊之



の経験から、子供たちをいっくつかのパートに分けて体だけを使った合奏を奏しんだ。そのうち自然に二分ほどの曲が出来上がり、「手拍子の花束」と名付けた。

授業参観の時、父母の前で披露したところ、珍しさもあったのだろうが、思わぬ反響がかえってきた。面白かった子供たちが生き生きと演奏している「大人もやってみたくなる」と。

「コンサートをやった」という周囲の励ましを受けて五年前の十一月、久留米で初のコンサートを開いた。子供たちは、足を痛めないように底がやわらかい靴をはいて足を鳴らし、笑顔で手やおなかを叩いて立派にステージを務めた。観客席を埋めた父母たちもまた、満面の笑顔だった。

それが元になって、週一回の割で練習するボディパーカッションクラブが誕生し、昨年末の東京公演につながっていった。

コンサートや講習会に参加できない人のために教則ビデオを作り、英語版も用意した。インターネットにホームページも開いている。これまで、ドイツのゴスラー音楽学校の生徒たち、サラエボの歌手、ヤド

ラシカさん、南アの太鼓グループなどと共演した。音楽は言葉ではないことを改めて実感する体験だった。

「感動が音楽の原点。私は今、養護学校の教諭をしている。もちろん、教え子たちにもボディパーカッションをやらせてもらっている。素直に体を動かし、うれしさを全身で表現する子供たちの姿は、音楽の原点そのものだ。」

「コンサートをやった」という周囲の励ましを受けて五年前の十一月、久留米で初のコンサートを開いた。子供たちは、足を痛めないように底がやわらかい靴をはいて足を鳴らし、笑顔で手やおなかを叩いて立派にステージを務めた。観客席を埋めた父母たちもまた、満面の笑顔だった。

「コンサートをやった」という周囲の励ましを受けて五年前の十一月、久留米で初のコンサートを開いた。子供たちは、足を痛めないように底がやわらかい靴をはいて足を鳴らし、笑顔で手やおなかを叩いて立派にステージを務めた。観客席を埋めた父母たちもまた、満面の笑顔だった。

「体がすべて楽器です」と叫びながら、いつの日にかカーネギーホールで演奏ができればと夢見ている。(やまだ・としゆき久留米養護学校教諭)

ン。子供たちが列を作り、グルーブごとに違ったリズムを追い掛けながら、音を重ねる。ドンドン、ドドンに広がってきた。

と足踏み加わり、様々な響きが複雑な共鳴を生む。久留米で四年前に「ボディパーカッション・クラブ」を作った。小学校一年から中学一年までの男女四十人が練習している。久留米から県内外へとその輪は確実に広がってきた。

☆★☆☆ 父母から大きな反響何となくやってきた教室でのリズム遊びを、もうすこし系統立てたもののできないだろうか。そう考えて作ったのが、音楽の授業の自主教材「山ちゃんの楽しいリズムスクール」だ。

私自身、小学校の鼓笛隊で小太鼓をやり、学生時代はドラムを叩いていた。その

感動が音楽の原点。私は今、養護学校の教諭をしている。もちろん、教え子たちにもボディパーカッションをやらせてもらっている。素直に体を動かし、うれしさを全身で表現する子供たちの姿は、音楽の原点そのものだ。

普及のために地元の小学校、幼稚園、保育園の先生たちを対象にワークショップをこつこつと開いていると、やはり口コミの力だろうか、思わぬところから問い合わせをいただくことも多い。例えば、だれでも楽しくやれて健康にいいのはと老人施設や養護福祉施設から見学に見えるし、「リハビリ」と病院関係者からの質問もある。

今から(2019年)20年前、日本経済新聞「文化」欄に掲載して頂いた時の思いが、現在のボディパーカッション教育活動につながっています。(山田俊之)



聴覚障害者と一緒にニューヨーク・カーネギーホールで作品演奏・

聴覚障害児、NHK 交響楽団と  
ボディパーカッション共演映像

福祉施設、孤児院訪問等のボランティア活動をしませんか？

## ボディパーカッション教育作品発表&社会貢献参加者募集中！

米国・ニューヨーク「カーネギーホール・ボディパーカッション教育作品発表」しませんか？  
2017、2018 年は、ウィーンの国立歌劇場で作品発表や福祉施設でボランティアワークショップを行いました。2019 年はニューヨークの高齢者福祉施設や孤児院でリズム活動通したウィーンで大好評だった「楽しいボディパーカッション・ワークショップ」を行います。



カーネギーホール



ニューヨークの街並み

右記 QR コードはカーネギー  
ホール HP です。今回の作品  
発表が紹介されています。



### 「なぜ、ニューヨーク、ウィーン、カンボジアでできるのか？」

- 音楽の都ウィーンで認められた世界でも例のない音楽教育福祉教材です。
- 世界標準は、社会貢献、人権意識を持つことが常識です。
- 世界文化発信を、国連本部があるニューヨーク・カーネギーホールで行うことは重要な意味があります。
- カンボジアの子ども達は「楽譜が読めなくても、楽器が苦手でも」参加できました。
- ボディパーカッション教育は、どんな障害があっても、みんな参加できます。
- ツアーに参加することで、指導者資格の勉強ができ、資格取得まで優遇します。
- 2020年より、5年後50ヶ国、10年後100ヶ国の子ども達に広める活動を行います。
- ボディパーカッション教育振興会として、企業や団体から支援を募集していきます。
- 今後も様々な世界的コンサート会場や、国連の機関等で発表していく予定です。
- 特別支援学校（知的障害、聴覚障害、肢体不自由、ダウン症）で10年以上の実績。
- 精神科入院病棟（3年）、不登校施設（2年）で音楽療法として実績。
- **是非一緒に、夢を実現し社会貢献にチャレンジしませんか？**

ボディパーカッション教育振興会・NPO 法人 ボディパーカッション協会

アメリカ・ニューヨーク・カーネギーホール作品発表  
福祉施設(孤児院、養護・高齢者施設)ボランティア研修ツアー

## 日程

- A 日程 : 2019 年 12 月 24 日(火)~12 月 30 日(月) 7 日間
- B 日程 : 2019 年 12 月 25 日(水)~12 月 30 日(月) 6 日間

### 旅行概要と代金について

A 日程	2019 年 12 月 24 日 (火) ~ 12 月 30 日 (月) 7 日間	¥428,000-
B 日程	2019 年 12 月 25 日 (水) ~ 12 月 30 日 (月) 6 日間	¥398,000-



指導・監修 : 山田 俊之 (*Toshiyuki Yamada*) ボディパーカッション教育振興会 代表理事

ボディパーカッション教育考案者。九州大谷短期大学教授。九州大学大学院人間環境学府博士後期課程満期修了(教育学)。公立学校教師(小・特別支援)、九州大学非常勤講師、九州女子短期大学教授を経て現職。1986 年小学校教師の時、「キレイやすい児童」をきっかけにクラスをまとめる目的でボディパーカッション教育教材作りを始める。タイトル「山ちゃんの楽しいリズムスクール」…現在「教育音楽小学版」(音楽之友社)で同タイトルの連載継続中。平成 17 年小学校音楽教科書(教育出版)、平成 24 年度特別支援学校用教科書(文部科学省編集)に採用される。2001、204、06 年 NHK 交響楽団とボディパーカッションの子ども達(健常、知的障害、聴覚障害)が共演し、その指導、指揮を務める。



推薦 : 津田 正之 (*Masayuki Tsuda*) 国立音楽大学教授、前文部科学省教育課程調査官

ボディパーカッション教育は、すべての子ども達が楽しめる優れた音楽教育教材であるとともに、学習指導要領に即した「音楽づくり」や、オーケストラ演奏に合わせることで「鑑賞曲を構造的に理解する」ことにつながります。私も、今回のニューヨークカーネギー公演は、私も日程が合えばぜひ同行したいと思います。音楽教育関係者のみならず、これから音楽教育等の指導を志す方々へ、このような貴重な経験をお勧めしたいと思います。

◎ 学生の皆さんは、10 万円の奨学金と 36 回払いが可能です。

◎ 帰国後に毎月 1 万円の支払いで、ツアー参加可能です。

**込締め切りは、11 月 17 日(月)です。**

ボディパーカッションは奇跡が起きます！

参加者（将来の指導者）募集！

米国カーネギーホール作品発表&福祉施設（孤児院等）でのワークショップ！  
自分自身のイノベーション（変革・奇跡）を起こしましょう！

～ボディパーカッション教育は下記のような奇跡が起こりました！～

- 小学校音楽科教科書へ採用（平成17年度ボディパーカッション曲「花火」採用）
- NHK交響楽団との共演（健常者と知的障害、聴覚障害、発達障害の子ども達も一緒に）
- オーストリア・ウィーン国立歌劇場での作品発表や国立福祉施設訪問
- 5万人ボディパーカッション（2002年、広島市ビックアーチ「スポレク全国大会」開会式）
- 特別支援学校用教科書（文部科学省編集）採用（平成24年度「手拍子の花たば」採用）
- 聴覚障害者も楽しめる音楽教材の誕生

【参加者特典】

- 参加者は、ボディパーカッション講座受講を優遇し、認定指導者資格を授与します。



下記の QR  
コードで、  
左の写真の  
映像をご覧  
頂けます。



NHK 交響楽団とボディパーカッション演奏（演奏曲「トレパーク」）を楽しむ小中学生の子ども達、最後列 15 人は全員が聴覚障害（耳から音がほとんど聞こえない）の生徒です。



下記 QR コ  
ード参照。



ウィーン国立歌劇場で内容紹介 & 作品発表「花火」



下記 QR コ  
ード参照。



2002 広島市ビックアーチ「スポレク全国大会開会式」

### 12月24日出発の場合

日付	滞在都市	交通機関	時刻	滞在中のスケジュール	食事	
1 2019年 12月24日 (火)	成田空港	各自	13:00	○成田空港指定場所にご集合 特別待合室にて出発前研修(～16:30) ○日本航空4便にてニューヨークへ (日付変更線) ○ニューヨーク到着後、専用バスにてニューアークのホテルへ (ニューアーク泊)	夕 機内	
	成田空港発	JL004	19:40		昼 機内	
	ニューヨーク	専用バス	18:25		夕 ホテル(軽食)	
2 12月25日 (水)	ニューアーク 滞 在	専用バス	09:00	○ホテルにて朝食 ○ホテルバンケットルームにて研修 (約3時間) ○ホテルにて昼食 ○ニューアーク市内半日観光 カテドラル・バジлика、リバティ州立公園 ジャージーガーデンモールにてショッピング & 夕食(各自) ○専用バスにてホテルへ戻ります。 (ニューアーク泊)	朝 ホテル	
		専用バス	12:30 14:00		昼 レストラン	
		専用バス	19:30		夕 各自	
3 12月26日 (木)	ニューアーク 滞 在	専用バス	10:00 午後	○ホテルにて朝食 ○専用バスにてカーネギーホールへ ○ステージリハーサル ○リハーサル終了後、控え室にてお弁当 ○カーネギーホール日米親善コンサートに出演 (※他団体とのジョイント形式となります) ○終了後、ホテルへ (ニューアーク泊)	朝 ホテル	
		専用バス	20:00		昼 各自	
		専用バス			夕 お弁当	
3 12月27日 (金)	ニューアーク 滞 在	専用バス	09:00	○ホテルにて朝食 ○ホテルバンケットルーム、または市内会場にて 練習(～12:00 ※3時間程度) ○レストランにて昼食 ○ニューヨーク近郊都市の福祉施設にて実演 研修 ○市内レストランにて夕食 (ニューアーク泊)	朝 ホテル	
		専用バス	12:30 午後		昼 レストラン	
		専用バス	18:00		夕 レストラン	
4 12月28日 (土)	ニューアーク 滞 在	専用バス	09:00	○ホテルにて朝食 ○ニューヨーク市内終日観光 ～五番街、タイムズスクエア、バッテリーパーク、9.11メモリアル、セントラルパーク等～ ○途中、市内レストランにて昼食 ○レストランにて打ち上げ(夕食) (ニューアーク泊)	朝 ホテル	
		専用バス	18:00		昼 レストラン	
		専用バス			夕 打ち上げ	
5 12月29日 (日)	ニューヨーク発	専用バス	06:00	○ホテルにて朝食 ○専用バスにて空港へ ○日本航空5便にて成田空港へ (機内泊)	朝 BOX	
		専用バス	JL005		10:55	昼 各自
		専用バス			夕 機内	
6 12月30日 (月)	成田空港着		15:25	○成田空港到着 ○入国審査後、解散	朝 機内(軽食)	

### 12月25日出発の場合

日付	滞在都市	交通機関	時刻	滞在中のスケジュール	食事
1 12月25日 (水)	成田空港	各自	17:00	○成田空港指定場所にご集合 ○日本航空4便にてニューヨークへ (日付変更線) ○ニューヨーク到着後、専用バスにてニューアークのホテルへ (ニューアーク泊)	夕 機内
	成田空港発	JL004	19:40		昼 機内
	ニューヨーク	専用バス	18:25		夕 ホテル(軽食)
2 12月26日 (木)	ニューアーク 滞 在	専用バス	10:00 午後	○ホテルにて朝食 ○専用バスにてカーネギーホールへ ○ステージリハーサル ○リハーサル終了後、控え室にてお弁当 ○カーネギーホール日米親善コンサートに出演 (※他団体とのジョイント形式となります) ○終了後、ホテルへ (ニューアーク泊)	朝 ホテル
		専用バス	20:00		昼 各自
		専用バス			夕 お弁当
3 12月27日 (金)	ニューアーク 滞 在	専用バス	09:00	○ホテルにて朝食 ○ホテルバンケットルーム、または市内会場にて 練習(～12:00 ※3時間程度) ○レストランにて昼食 ○ニューヨーク近郊都市の福祉施設にて実演 研修 ○市内レストランにて夕食 (ニューアーク泊)	朝 ホテル
		専用バス	12:30 午後		昼 レストラン
		専用バス	18:00		夕 レストラン

## 【発表作品の考え方、曲目、練習内容について】

- ・ 楽曲は、山田俊之の著書の中から、8～10曲を選曲します。
- ・ 障害（聴覚障害、視覚障害、ダウン症、知的障害、肢体不自由、発達障害）があっても、健常者と一緒に楽しめる教材ですので「音楽の楽しさ」を前面に出して演奏して頂きます。
- ・ ボディパーカッション教育は、小中学生と障害がある子ども達と一緒に活動して、発展した音楽教材です。
- ・ 基本は「音を楽しむ教材」ですので、間違えても大丈夫です！難しくありません。「間違えた音は装飾音符と考えています！」
- ・ 事前に、楽譜や動画を提示して各自で個人練習して頂きます。11月から、練習日程を東京、大阪、福岡で計画します。

### 【問い合わせ先】

旅行内容に関することは下記へご連絡ください。

ボディパーカッション発表内容、奨学金、指導者認定  
練習計画に関することは下記へご連絡ください。

【旅行企画・実施（お問合せ・お申込み先）】

 Music & Cultural Exchange Council International, Inc.  
株式会社 **エムセック インターナショナル**  
観光庁長官登録旅行業第 1999 号

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-8-7 青山宮野ビル 2F  
TEL: 03-3406-1122 FAX: 03-3406-1125  
Email: info@mcec-inter.com  
営業時間：9:30-18:00（土・日・祝休み）

ボディパーカッション教育振興会

代表 山田俊之（やまだ・としゆき）

携帯：090-8419-6219

メール：edubody1986@gmail.com

### ボディパーカッション教育とNHK「パブリカ」ソングプロジェクトについて

楽曲「パブリカ」（米津玄師の作詞・作曲）ソングは、NHKが「2020年とその先の未来に向かって頑張っている全ての人を応援するプロジェクト」として開始されました。現在では、再生回数2億回という驚くべき数字になっています。

NHKより依頼がありインクルーシブ・バージョンとして「パブリカ・ボディパーカッション」編を監修致しました。（2019年9月27日放送）  
神奈川県厚木市の子ども達が車いすの児童も一緒に元気いっぱい演奏してくれました。どうぞご覧ください。



\* インクルーシブ・バージョンとは、障害のあるなしにかかわらず「すべての子ども達が楽しめる」ことをテーマにしています。

### 【テーマ】

■5年後50ヶ国、10年後100ヶ国の子ども達にボディパーカッション教育の楽しさ伝えたい！

■音楽から1番遠い位置にある聴覚障害の子供たちや大人、そしてすべての人たちが楽しめる音楽教育教材として育てたい

当振興会は、すべての子ども達が楽しめる日本生まれの“インクルーシブ音楽教材”「ボディパーカッション教育」を世界中の子ども達へ伝える活動を行っています。2017、18年、ウィーン国立歌劇場で作品発表し好評を博し、施設ボランティア活動でも高い評価を頂きました。今年度は、カーネギーホールで作品発表を行い、福祉施設（孤児院、養護施設等）ボランティアを行います。一緒に社会貢献活動や自己実現しませんか？

ボディパーカッション教育振興会 代表理事 山田俊之

# 一般社団法人ボディパーカッション振興会定款 (2019年12月申請予定)

## 第1章 総則

### (名称)

第1条 この法人は、一般社団法人ボディパーカッション教育振興会という。

### (事務所)

第2条 この法人は、主たる事務所を福岡県久留米市江戸屋敷2丁目4番33-1に置く。

## 第2章 目的及び事業

### (目的)

第3条 この法人は、子どもたちや障害者をはじめ、広く市民に対して、楽器を使わずにからだで音楽を表現できるボディパーカッション教育の普及に関する事業を行い、音楽教育、子どもたちの健全育成、国際交流などの推進に寄与することを目的とする。

### (活動の種類)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次に掲げる種類の活動を行う。

- (1) 障害の児童生徒を含む、すべての人々へ文化、芸術の振興を図る活動
- (2) 海外教育支援、国際協力の活動
- (3) 子どもの健全育成を図る活動保健、
- (4) 医療又は福祉の増進を図る活動
- (5) 社会教育の推進を図る活動

### (事業)

第5条 この法人は、第3条の目的を達成するため、特定非営利活動に係る事業として、次の事業を行う。

- (1) ボディパーカッション教育に関する調査・研究及び普及・啓発事業
- (2) ボディパーカッション教育を通じた青少年健全育成事業、障害児・者支援活動
- (3) ボディパーカッション教育に関する指導者育成事業
- (4) 福祉施設や病院等における音楽・レクレーション療法に関する事業
- (5) ボディパーカッション教育を通じた海外教育支援、国際交流事業
- (6) ボディパーカッション教育に関する広報及びボランティア事業支援



一般社団法人ボディパーカッション教育振興会 (2019年12月申請予定)

【テーマ】

「聴覚障害があっても音楽が楽しめる、ボディパーカッション教育の楽しさを伝えよう！」

「5年後50ヶ国 10年後100ヶ国の“全ての子ども達”へボディパーカッション教育の楽しさを！」

\* 「全ての子ども達」は、障害（聴覚障害、知的障害、視覚障害、肢体不自由、発達障害、  
ダウン症、他）がある子ども達と健常な子ども達が「全ての子ども達」という意味です。



上記QRは、聴覚障害児、  
健常な子ども達が一緒に、  
NHK交響楽団とボディ  
パーカッション共演映像。

代表理事 \* (カッコ)は在住地

- ・ 山田俊之 九州大谷短期大学教授、ボディパーカッション教育考案者（福岡）

特任理事（アイウエオ順）

- ・ 井上樹彦氏 B-SAT代表取締役社長、元NHK理事、久留米市参与（東京）
- ・ 岡田知之氏 洗足学園大学名誉教授、NHK交響楽団理事、日本吹奏楽指揮者連盟会長（東京）
- ・ 篠崎史徳氏 NHK交響楽団第一コンサートマスター（東京）
- ・ 八尾坂修氏 開智国際大学教授、九州大学名誉教授、前文部科学省中央教育審議会委員、元福岡市教育委員長（東京）

理事

- ・ 津田正之氏 国立音楽大学教授、前文部科学省教育課程調査官・音楽科（東京）
- ・ 山田淳司氏 神奈川県厚木市立北小学校校長、神奈川県小学校校長会副会長（神奈川）
- ・ 丸尾直史氏 一般社団法人国際親善音楽交流協会代表、(株)エムセック勤務（東京）

監事

- ・ 椛島 修氏 弁護士、椛島法律事務所所長（福岡）
- ・ 秋吉 樹氏 税理士、秋吉税理士事務所所長（福岡）

テクニカルアドバイザー

- ・ 前田千代氏 JCDA日本チアダンス協会代表理事（神奈川）
- ・ 関家真一郎氏 打楽器奏者、西日本打楽器協会理事（佐賀）

ボディパーカッションキッズOB会（役員）

- ・ 小田沙織 スポーツクラブ勤務、ボディパーカッションキッズ出身（福岡）
- ・ 音成志穂 市役所勤務、ボディパーカッションキッズ出身（福岡）
- ・ 山田奈実 会社勤務、ボディパーカッションキッズ出身（東京）
- ・ 井上彩香 元航空会社勤務、デフ・ボディパーカッションキッズ出身（埼玉）

ボディパーカッション認定指導者団体「スクラムハート」

- ・ 代表：山田淳司、副代表：矢代貴司、他15名（教師、音楽教育関係者、他15名）
- 「デフ・ボディパーカッションクラブ」（久留米聴覚特別支援学校・児童生徒のサークル指導）
- ・ 中島裕子 福岡県立特別支援学校教諭、ボディパーカッション指導、手話通訳士（福岡）
- ・ 山田俊之 九州大谷短期大学教授、聴覚障害対応ボディパーカッション曲の作曲・指導（福岡）

青年海外教育支援アドバイザー（ボディパーカッション教育を通して海外教育支援経験者）

- ・ 荒木英介 九州大学大学院理学部地球惑星学科（地層）修士2年
- ・ 西岡 宰 九州大学大学院理学部地球惑星学科（宇宙）修士2年
- ・ 加藤麻衣 九州大学大学院人間環境学府教育システム専攻 修士2年
- ・ 松田 亮 九州大学大学院理学部物理学科修士1年

後援団体・企業・他

- ・ 2019年11月より、2020年以降に向けて支援企業を募集します。